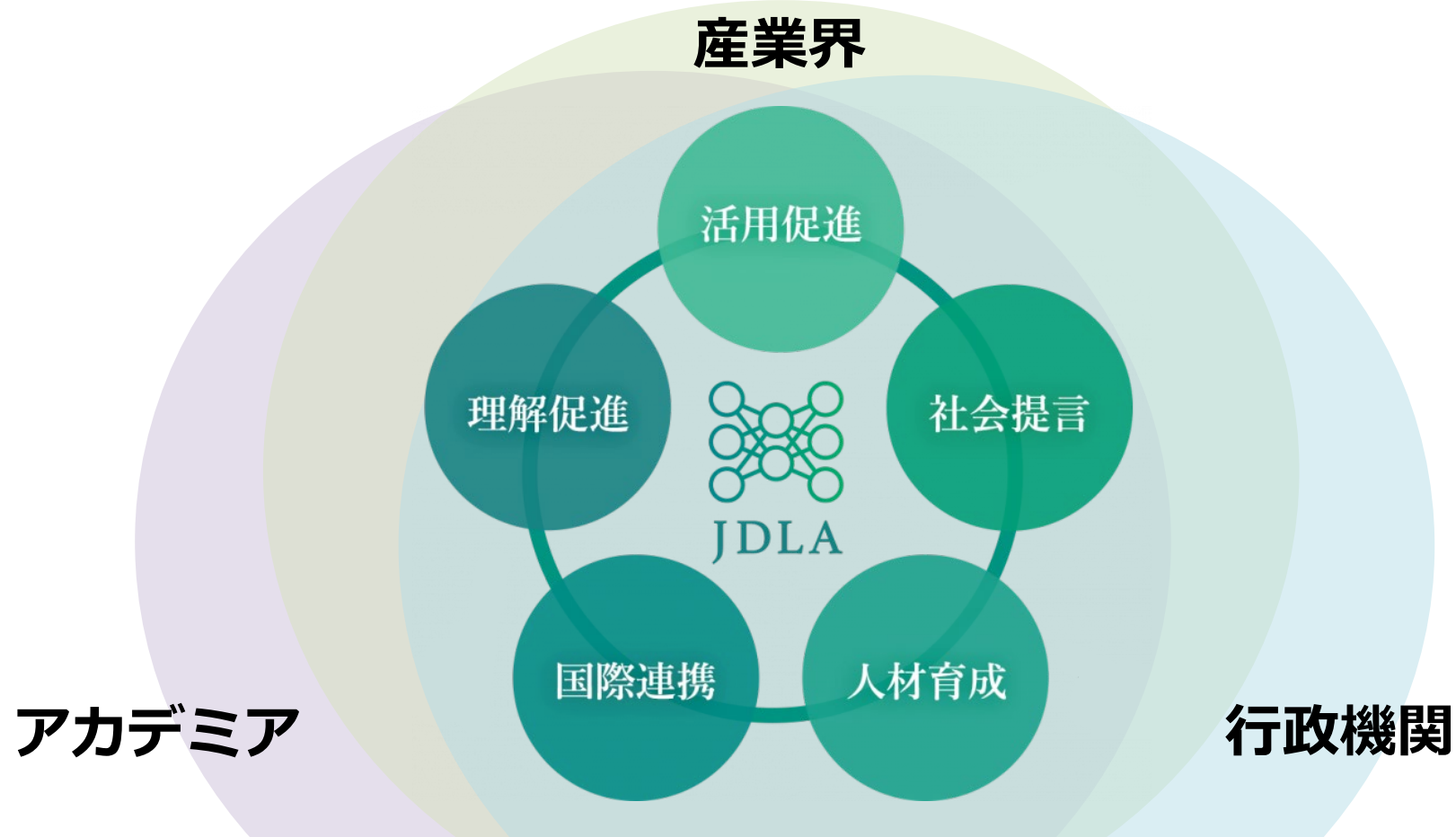


# JDOLA研究会のご案内

(2022-23)



Japan  
Deep Learning  
Association



共通課題抽出

事例収集・標準化

事業化・共創

市場拡大・社会実装

基盤活動： 講座・検定・資格

研究会

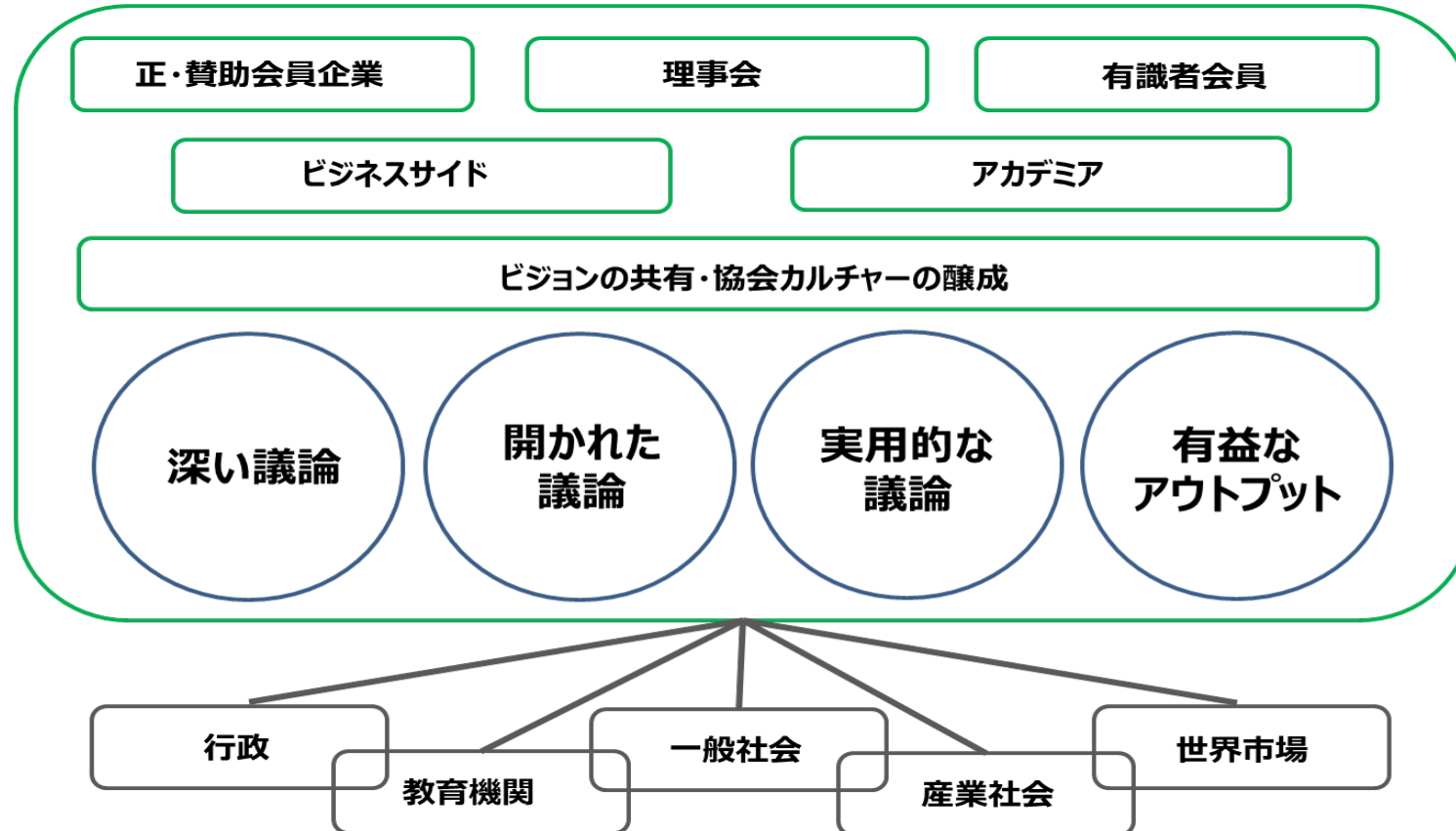
セミナー・講演

ビジネスマッチング・ネットワーキング

# 「研究会」とは？

「研究会」は、JDLA設立目的および5つの活動方針（活用促進・社会提言・人材育成・国際連携・理解促進）に関するテーマについて、ディープラーニング（DL）ビジネスに関わる幅広いステークホルダーの多様な知見を共有しながら議論を深め、価値あるアウトプットを協会内外に向けて発信していく場として設置されました

各研究会は、タイムリーで具体性のある政策提言や、最先端のDLビジネス課題の本質に迫る実践的なゴールを設定し、その達成に向けて活動しています



# 「研究会」の概要

趣旨	JDLA活動方針の下、DL技術の横断的かつ実質的な社会実装を図るとともに、協会活動に資する専門のテーマを議論することを目的としてテーマ（課題）毎に研究会を設置する
テーマ	理事会による決定 ※総会に合わせた年次計画に基づいて決定。期中の発足は都度理事会で協議、決定する
構成メンバー	座長： 1名 ※理事会による指名（原則JDLA理事） 副座長： 若干名 ※座長による指名・会員社（正・G以上）より推挙された者 研究員： 会員ならびに会員企業に属する者・その他座長が必要と認めた者
オブザーバー	JDLA会員： 会員企業/団体に所属する者は、各回事前登録による自由参加 その他： 話題提供者、関連省庁・機関より、研究会趣旨に照らして座長が必要とする者
活動期間	通年
活動内容	テーマに関する特定トピックについて有識者、話題提供者による講話と議論を行う勉強会形式を主体とし、各回の要旨を作成して会員向けに内部展開する。中間報告書ならびに最終成果物の作成、公開を行う
活動頻度	8～10回程度/年

# 「研究会」一覧

テーマ	趣旨	成果公開物
<p><b>AIガバナンスと その評価</b> (座長：江間有沙) I：2020年8月～2021年7月 II：2021年8月～2022年7月 III：2022年8月～活動中</p>	<p>AIガバナンスに資する様々な要素を研究し、信頼されるAIの構築を検討する ※ここでの「ガバナンス」とは多様なアクターによる管理・評価体制の在り方を意味する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">第I期報告書『AIガバナンス・エコシステムー産業構造を考慮に入れたAIの信頼性確保に向けてー』</a></li> <li>• <a href="#">第II期報告書『AIガバナンス・エコシステムーAIは誰が管理・評価するのかー』</a></li> <li>• <a href="#">AIガバナンスエコシステム・データベース</a></li> </ul>
<p><b>契約締結における AI品質保証の在り方</b> (座長：南野充則) 2020年8月～21年7月</p>	<p>AI開発の特殊性による「品質保証」に対する概念や理解の不一致を解消し、契約締結の円滑化によってAI利活用の促進をはかる</p>	<p><a href="#">『契約締結におけるAI品質ハンドブック』</a></p>
<p><b>AIデータと 個人情報保護</b> (座長：岡田陽介) 2021年6月～活動中</p>	<p>AIの開発・データ利用に伴う個人情報の取扱いに係る論点を整理し、法制度の解釈と遵守のためのスタンダードを示す</p>	<p><a href="#">『AIデータにおける個人情報取扱いのためのナビゲーションー顔画像データー』</a></p>



## 研究会名：「AIガバナンスとその評価 Ⅲ」

### ≫目的

多様なアクターによる管理・評価の体制の在り方を「ガバナンス」と定義し、どのようなガバナンスの形がありうるのか調査し、信頼されるAIの構築の一助とする

### ≫座長 江間 有沙理事

### ≫議論構成（第Ⅲ期）

- 「AIガバナンス・エコシステム」の各アクターの機能・役割の明確化  
(第Ⅰ期、第Ⅱ期検討のアップデート)
- 「AIガバナンス・エコシステム」の実践的な検討

### ≫成果物イメージ（第Ⅲ期）

様々な国や企業が行っている自己点検・評価や第三者による審査・評価の整理を行い、報告書として公開

## 研究会名：「AIデータと個人情報保護」

### ≫目的

AIの開発・データ利用に伴う個人情報の取扱いについては、まだ議論が十分にされているとはいえず、そのことがAIの開発やデータ利用において障壁となりうる。AIの開発・データ利用に伴う個人情報の取扱いに係る論点を整理し、法制度の解釈と遵守のためのスタンダードを示す

### ≫座長 岡田陽介理事

### ≫議論構成

個人情報保護に係る法律・制度の解説、事業会社による取組みを軸に話題提供頂き、法令遵守のスタンダードの提示に向けて議論する。データの種類や活用分野毎にテーマを絞り、それぞれの特徴を踏まえた議論を行う（顔画像データ、医療データ、金融データ等）

### ≫成果物イメージ

AIの開発・データ利用において個人情報取り扱いの観点からの問題点を整理し、あるべき法令遵守について具体的な法解釈、対策、体制を示すレポート

# 構成メンバー（副座長・研究員）への参加について

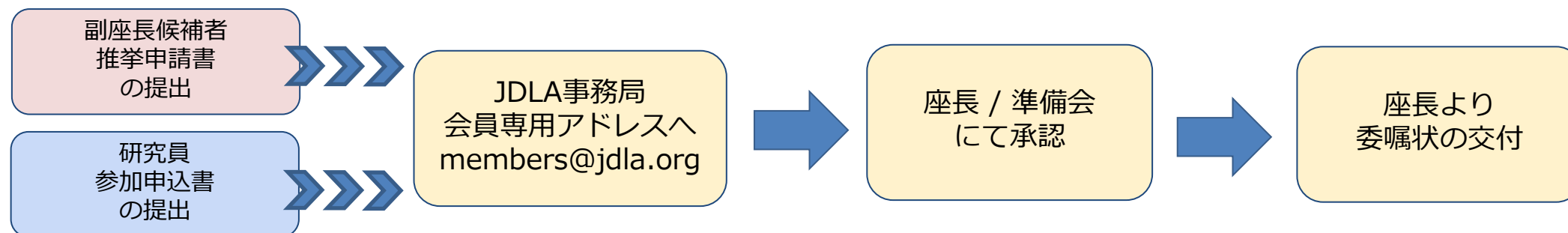
## 副座長

- 役割
  - 全体設計、議事進行、成果物作成等の活動全体を通じて統括する座長の補佐
- 推挙権：正会員・賛助会員（ゴールド以上）
- 推挙受付期日：初回開催の2週間前まで
- 推挙申請手順
  - ・「副座長候補者推挙申請書」を事務局へ提出
  - ・座長による承認
  - ・委嘱状（NDAを含む）の交付

## 研究員

- 役割
  - 研究会のディスカッションへの参加
  - 成果物案のレビュー、フィードバック
- 参加権：全ての会員社
- 申込受付期日：研究会発足告知～中間報告まで
  - ※研究会によって登録人数は異なります
- 参加申込手順
  - ・「研究員参加申込書」を事務局へ提出
  - ・座長または準備会による承認
  - ・委嘱状（NDAを含む）の交付

### <申請フロー>







Japan  
Deep Learning  
Association